

20年後に生き残る会社

2013年は激動のビジネス時代が幕をあげた年。どんな有力企業にも「安全神話」は通用しない。
20年後のGDPランキングはトップ2を米中が競い、3位にくるのがインド。4位はインドネシア、
日本は5～7位をドイツ、ブラジルと争っている状況。

20年後、日本のGDPは2012年の8割ほどに縮小、賃金は2割位下がる。消費税は最悪の場合20%位まであがり？
医療費の自己負担も4割？に増える。一方、年金開始時期は70歳まで引き上げられる可能性がある。モノが売れない時代になる。

これから生き残れる企業はどこ？ 未来への投資の出来ている会社

自動車	トヨタ自動車	電気自動車 燃料自動車(シェールガス)
商社	三菱商事 三井物産	次世代ビジネスへの投資
総合電気	東芝 日立	重電中心 原子力発電 重電中心 鉄道などの インフラ事業
建設機械	コマツ	GPSを利用したシステム
工作機械・ロボット	ファナック	産業用ロボット
造船・重機	三菱重工業	小型ジェットの開発
カメラ・事務機器	キヤノン	
タイヤ・ゴム	ブリジストン	
陸運	ヤマトHD	アジア展開成功
デイベロッパー	三井不動産 三菱地所	大手町 日本橋 既得権ビジネス

銀行	三井住友FG 三菱UFJFG みずほFG	決済機能の活用
自動車部品	デンソウ	
タイヤ・ゴム	ブリジストン	低燃費タイヤ 特殊車両タイヤ
電子部品	村田製作所	コンデンサー
鉄道	JR東海 JR東日本 東京地下鉄	リニア新幹線
住宅設備	TOTO	トイレ製品で世界席捲
生命保険	日本生命保険	
ビール・飲料	キリンHD	
化粧品	資生堂	
スーパー	イオン	
コンビニ アパレル	セブンイレブン・ジャパン ファーストレテイリング	